



生みの親といっしょに
よりよい育ての親に

わたしを ぎゅっとして
わたしを 見つめて
わたしを 聞いて
わたしを 呼んで

『アクティブラーニングか？スマートラーニングか？』
～賢い子に育てるために～

人間はお母さんのお腹の中にいる胎生期、28週頃からものが見えて(視覚)、
聴くことが出来て(聴覚)、体性感覚が育ち「学び心」が芽生えていると言われてい
ます。だから生後その五感を活用しながら、人間としての生き方を学習し、身につけてい
きます。

私たち(社福)童心会は「0才児からの教育」を謳ってから久しく「テラスの教室」から、
たくさん子どもたちが授けられた五感を活用しながら

興味・関心・好奇心・意欲・意志を持つ子供たちを育ててきました。

童心会 各保育園の1歳児「もも組」さんを受け持つ先生たちは口を揃えて

「もも組さんは 意欲があります」と答えてくれます。

そしてまた口を揃えて「ばら組さんの先生方の[育て]のおかげです」というのです。

今、脳医学で有名な 瀧 靖之教授(東北大学加齢医学研究所)は
『「賢い子」に育てる究極のコツ』というご本の中で 「これは何?」「なぜ?」「どうして?」
という言葉の応答と姿勢から、賢い子が育ってくると言っています。

3~4才になると、多くの子どもたちがすべての出来事に興味・関心を持つようになります。

こうして子供の中に育った「好奇心」はやがて意欲や競争心となって、

生涯にわたってその子の財産になっていくはずで、と書いてあります。

そして先生は続けて、ご専門の加齢医学の研究から どんな健康な人でも歳をとれば脳は老化し、
様々な能力が低下していきます。

しかし幼い頃から好奇心が高い人ほど老化の速度が遅いと述べています。

だから好奇心が旺盛で、考えたり、判断したり、計算したり、多くの人たちとの関わり(高次認知機能)



笑ったかす一番
遊んだかす一番

だっこされたかす一番
でかけたかす一番

やさしくされたかす一番
チャレンジしたかす一番

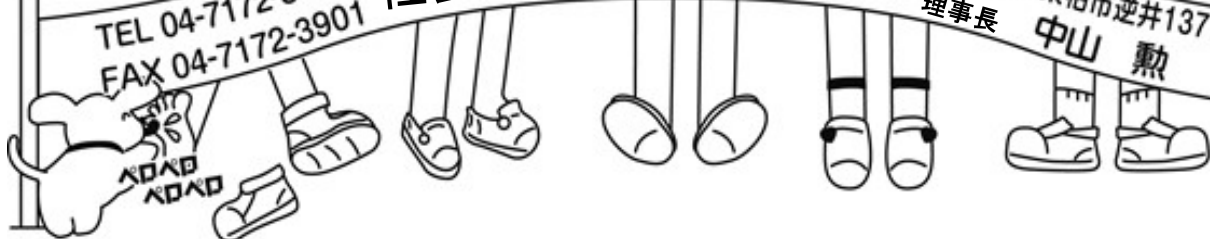


E-mail doushinkai@kashiwa-sakasai.ed.jp URL <http://www.kashiwa-sakasai.ed.jp>

TEL 04-7172-3939
FAX 04-7172-3901

社会福祉法人 童心会

〒277-0042 千葉県柏市逆井1377番地1
理事長 中山 勲



などを多く持てる人は、歳をとってからでも他の人たちよりも10年以上長く人生を楽しめる人、といえるでしょう。と 力強く言っています。

こうした時代の激しい科学の動きの中で 2020年～22年度に小中校で始まる学習指導要領について まとめ案が公表されました。この中で最重要事項のアクティブ・ラーニング(AL)は、主体的で対話的な能動的学習を旨としています。

ALは今までの「何を学ぶか」ではなく、「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」特に「どのように」というキーワードを大切にすることだ、と説明しています。

またALには「三本の柱」があるのですが、私はその中で(社福)童心会の「0才児からの教育」に取り組む者として実践している「学びに向かう力・人間性」即ち今はやりの「非認知能力の育成」を昭和48年から実践する者として どのようにそだててきたのか、

その実学をお伝えしたいと思いました。即ちこれ(非認知能力の育成)が 私たち(社福)童心会でいうスマート・ラーニングなのです。

0才から五感を授けられた意味を知った者がそれらを活用し、「観せる・見る・聴く・さわる」ことから「学びあえる力、学びに向かう力」という「人間としての生きる姿勢・態度」を身につけていくことをスマート・ラーニングと私たちは言っています。

1. 人間としての 生きる基盤

愛された育ち(だきしめ言葉)

2. 人間としての 生きる姿勢

興味 ・おや、なんだろう！
関心 ・やってみたいなァー？
好奇心 ・できるかなァー？
意欲 ・よし、やるぞう！
意志 ・最後までつづけるぞ！

3. 人間としての 生きる態度

がんばること (体の力)
つづけること (学ぶ力)
がまんすること (心の力)

をこれからもこの言葉の持つ意味を大切にしながら、子どもたち一人ひとりにこの力を身につけさせることが、私たちの臨床保育の実践であることを改めて確信しました。

時を同じくして無藤 隆教授(白梅学園教授)は、遅ればせながらOECD(経済協力開発機構)から始まった、欧米を中心に世界中で注目されている「非認知能力」の育成は、日本でも教育再生実行会議でも中心的なテーマで、平成30年度より実施する予定の幼稚園教育要領や保育所保育指針には、内容が多く盛り込まれるはずだ、と書いています。非認知能力は I. Qなどで数値化される認知能力と違って、「学びに向かう姿勢」とも言い表し、目標や意欲・興味・関心を持ち、粘り強く、仲間と協調して取り組む姿勢が中心になる、と言っています。

今回の童心会だより8月号はむずかしいことを長々と書かせて頂きました。いつも思っていました。機会があったら(社福)童心会の「保育の本質」を皆様にお伝えしようと心待ちにしてはいたのですが、国の制度が変わろうとしている今昔から実践している私たちの人間教育が認められてきているのです。うれしい限りです。

過日行われた「柏さかさい南部 子ども夏まつり」ではO. Bの方がたくさん集まって下さり、(社福)童心会の保育園は、「エリート保育園だ！」とのお誉めの言葉をたくさんいただきました。すべて「生みの親・育ての親」になってくれた「皆様のおかげさま」です。ありがとうございました。これからも皆様のご協力 よろしく願いいたします。

平成 28 年 8 月 吉日
社会福祉法人 童心会
理事長 中山 勲